

令和4年度 水道事業・工業用水道事業会計 決算見込（速報版）の概要について

1 経営収支概要

（1）水道事業会計

コロナ禍からの回復基調により、旅館業等の使用水量が増加したことなどに伴い経常収益が増加したものの、電気料金の高騰等に伴い物件費が増加したことなどから経常損益（77.3億円の黒字）は、前年度に比べ9.7億円の収支悪化となる見込みです。また、当年度損益（67.8億円の黒字）についても、前年度に比べ16.3億円の収支悪化となる見込みです。

（2）工業用水道事業会計

令和4年4月から「大阪市工業用水道特定運営事業等」の開始に伴い、収支構造が大幅に変更となったことにより、経常損益（0.2億円の黒字）は、前年度に比べ2.7億円の収支悪化となる見込みです。また、当年度損益（3.5億円の赤字）についても、前年度に比べ5.7億円の収支悪化となる見込みです。

2 資金不足比率について

令和4年度決算においては、水道事業会計、工業用水道事業会計ともに、資金不足が生じる見込みはありません。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い、公営企業会計については、会計ごとに資金不足比率を算定することとされ、平成20年度決算から、資金不足比率が経営健全化基準（20%）以上となる場合は、経営健全化計画の策定が義務付けられました。

3 経営収支

【水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和4年度 決算見込	令和3年度 決算	差 引	増減率 (%)
経 常 収 益	60,515	58,045	2,470	4.3
うち給水収益()	51,447	53,576	2,129	4.0
うち料金減額相当額繰入	4,260	0	4,260	皆増
うち受託工事収益	185	104	81	78.3
経 常 費 用	52,790	49,351	3,439	7.0
うち人件費	11,237	11,035	202	1.8
うち物件費	19,541	17,174	2,367	13.8
うち減価償却費	16,920	17,071	151	0.9
うち支払利息	1,599	1,872	273	14.6
経 常 損 益	7,725	8,694	969	
特 別 利 益	0	318	318	皆減
特 別 損 失	945	606	339	55.9
当 年 度 損 益	6,780	8,405	1,625	
累積剰余金(累積欠損金)	15,186	0	15,186	
資 金 不 足 比 率	-	-		
企 業 債 残 高	98,706	102,465	3,759	3.7

生活支援の施策にかかる減額分(一般会計より補填)を加えた実質給水収益は55,707百万円。
(差引 2,131百万円)

【工業用水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和4年度 決算見込	令和3年度 決算	差 引	増減率 (%)
経 常 収 益	672	1,548	876	56.6
うち給水収益	0	1,319	1,319	皆減
うち受託工事収益	201	59	142	著増
うち運営権設定関連収益	304	0	304	皆増
経 常 費 用	657	1,263	606	48.0
うち人件費	0	118	118	皆減
うち物件費	168	635	466	73.5
うち減価償却費	392	402	10	2.5
うち支払利息	4	5	2	31.0
経 常 損 益	15	285	270	
特 別 利 益	32	125	93	74.1
特 別 損 失	399	192	207	著増
当 年 度 損 益	352	218	570	
累積剰余金(累積欠損金)	891	1,176	286	
資 金 不 足 比 率	-	-		
企 業 債 残 高	167	233	66	28.4

(注)表内の計数は、全て四捨五入を行っており、また差引及び増減率(%)については、円単位で計算しているため、表内計算で一致しないものがあります。